

| | | | | | |
|---|--|------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 茨城工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成30年度 (2018年度) | 授業科目 | 歴史と文化 I |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0013 | | 科目区分 | 一般 / 選択 | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位の種別と単位数 | 学修単位II: 2 | |
| 開設学科 | 機械システム工学科(2016年度以前入学生) | | 対象学年 | 4 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 前期:1 後期:1 | |
| 教科書/教材 | 教科書は用いない。必要に応じてプリントや史料を配布する。 | | | | |
| 担当教員 | 並木 克央 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1. 歴史学がどのような学問であるかを理解する。 2. 日本史の各時代の在りようを理解する 3. 近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解する。 | | | | | |
| ルーブリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | | 標準的な到達レベルの目安 | | 未到達レベルの目安 |
| 評価項目1 | 歴史学がどのような学問であるかを理解し、説明ができる。 | | 歴史学がどのような学問で在るかを理解できる。 | | 歴史学がどのような学問であるかが理解できない。 |
| 評価項目2 | 日本史の各時代の在りようを理解し、説明ができる。 | | 日本史の各時代の在りようを理解できる | | 日本史の各時代の在りようを理解できない。 |
| 評価項目3 | 近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解し、説明ができる。 | | 近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解できる。 | | 近代の前提となる江戸時代と近代への移行について理解できない。 |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 学習・教育到達度目標 (E)(ト) | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 我々はどのように歴史を認識しそこから何を学んでいるのか。歴史にはどのような見方があるのかなどについて概説する。次いで具体的な日本の歴史を取り上げながら、世界の歴史のなかでの日本史の普遍性と特殊性について触れる。また近代を知るために、その直前の時代である江戸時代に注目する。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 講義形式でおこなう。史料などを配布してそこから何が分かるのかについて考えながら進める。 | | | | |
| 注意点 | 教科書を用いないのでノートを確実に取り、不明な用語などについては質問すると同時に個々に調べること。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | 歴史学とは何か | 歴史が後世の人びとによって記されたものであることを理解する。 | |
| | | 2週 | どのように時代を捉えてきたか | 多様な歴史の捉え方について理解する。 | |
| | | 3週 | 時代の分け方 | さまざまな時代区分について理解する。 | |
| | | 4週 | 日本史の時代区分 | 日本固有の時代区分を理解する。 | |
| | | 5週 | 歴史学と関連諸科学 | 歴史学の方法と関連する諸科学とその方法を理解する。 | |
| | | 6週 | 歴史学と古文書学 | 歴史学に必要な不可欠な古文書学について理解する。 | |
| | | 7週 | 中間試験 | | |
| | | 8週 | 原始の日本列島 | 縄文時代 1万年間を概観する。 | |
| | 2ndQ | 9週 | 縄文から弥生へ | 過渡期国家である邪馬台国の時代を理解する。 | |
| | | 10週 | 古代王権 | 日本古代の特徴を王権との関係から理解する。 | |
| | | 11週 | 外来制度・文化の摂取 | 外来の制度・文化の受容について理解する。 | |
| | | 12週 | 日本の中世 (概要) | 日本中世の特徴を世界史との比較で理解する。 | |
| | | 13週 | 日本の中世 (宗教) | 鎌倉仏教の成立と背景について理解する。 | |
| | | 14週 | 日本の中世 (一揆) | 一揆、自由都市、惣などについて理解する。 | |
| | | 15週 | 期末試験 | | |
| | | 16週 | 総復習 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 日本の近世 (時代区分) | 江戸時代が近世として把握される意味を理解する。 | |
| | | 2週 | 日本の近世 (時代の原理) | 江戸時代を成り立たせている原理について理解する。 | |
| | | 3週 | 「武士」の世界 | 主従制や「武士道」とは何であったかを理解する。 | |
| | | 4週 | 「百姓」の世界 1 | 共同体としての「村」について理解する。 | |
| | | 5週 | 「百姓」の世界 2 | 農民達の暮らしや思考の在りようを理解する。 | |
| | | 6週 | 「町人」の世界 | 職人や商人の暮らしと実態を理解する。 | |
| | | 7週 | 中間試験 | | |
| | 4thQ | 8週 | 「宗教者」の世界 | 僧侶、修験、神官などの活動と庶民の受容について理解する。 | |
| | | 9週 | 「被差別民」の世界 | 差別された人びとと差別の構造を理解する。 | |
| | | 10週 | 外国人が見た江戸時代と人 | 幕末に日本を訪れた外国人が見た江戸時代人について理解する。 | |
| | | 11週 | 明治維新とは何か | 日本の近代化政策の概要を理解する。 | |
| | | 12週 | 島崎藤村『夜明け前』の世界 —近代の成立— | 地方の知識人がみた明治維新の在りようを理解する。 | |
| | | 13週 | 長塚節『土』の世界 —近代の成立— | 日本の近代化を支えた地主制の実態を理解する。 | |
| | | 14週 | 新田次郎『ある町の高い煙突』 —近代の成立— | 近代化の弊害について理解する。 | |

| | | | | |
|--|--|-----|------|--|
| | | 15週 | 期末試験 | |
| | | 16週 | 総復習 | |

評価割合

| | 試験 | 発表 | 相互評価 | 態度 | ポートフォリオ | その他 | 合計 |
|---------|-----|----|------|----|---------|-----|-----|
| 総合評価割合 | 100 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 基礎的能力 | 80 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 80 |
| 専門的能力 | 20 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 20 |
| 分野横断的能力 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |